

東北港灣振興座談會

速記 録

小名濱港 (十八)

委員(末永一三君) 只今の御話の積取ります船の大きき並に其船ほどの邊に淀泊するのでありますか、孰れ防波堤の中に入るのではないと思ひますが其御説明を願ひます。

二十番(西丸猛君) 今回の積込船として入港されるのは三百噸の補助帆船であります、それから積込に使用する船は三十噸の船、艘々やうと考へて居ります、現在の状態ではそれ以上の船は近く寄ることが出来ないやうな状態になつて居りまして、遺憾ながら小さい船でやうと云ふことになつて居ります。

三番(鈴木辰三郎君) 此場合小名濱商港と云ふものがどうして生れたかと云ふことに付て御考まで申上げて見たいかと存じます、小名濱商港の生れたことは恰度吾々縣會議員の時漁港とは別個に商港にしたいと云ふ建議を致し、港灣調査會に非常なる御努力を戴いた商港でありましたが是は申すまでもなく東京と鎌倉の間には小名濱商港の外に無い海陸運賃の上にも必要であり國防の上にも必要なる港である、而して石城郡として見ましても平町は石城郡の首府と同様な町であります、而して平町の繁榮は直に郡の繁榮となり、隨て縣の繁榮となるのであります、之を要するに先程來炭礦業者の御説明もありましたが石城の發展は炭礦が中樞であります、此炭礦の發展を度外して石城の繁昌を求めるとは頗る至難であります、故に此場合炭礦は鐵道關係の人の御列席を希望して居つたのであります、其方面の方の御出席のなかつたのは遺憾に感ずるのであります、要は小名濱商港が完成致しすれば現在の輸送關係と鐵道が完成した後の小名濱商港は大なる差が起ると考へます、要するに小名濱商港は東京に於ける横濱の如く平町と小名濱港を成るべく近くしたい、要するに平町と小名濱港を結び付けたいと云ふのが目的であつたのであります。

銘酒は..... 清世界

店本屋水清 元寶發
番六話電町濱名小



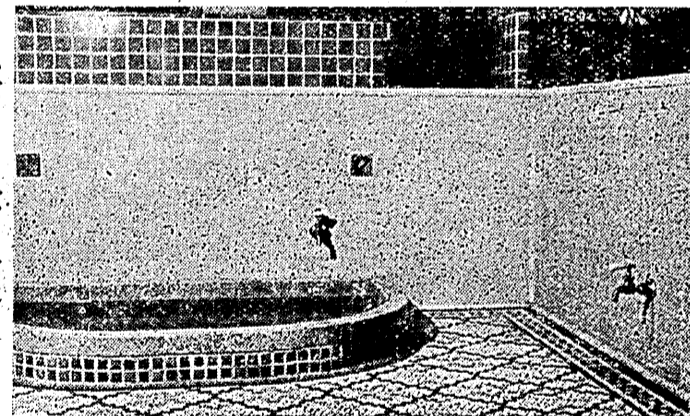
内科 外科
小兒科
花柳病科
平川醫院
江名町 電話二六番

は擇撰の合柄
商品豊富な店
江尻吳服店
商號 西村屋
通稱 タイモン
小名濱町横町
電話二十四番

活版石 版石 活版石
精確敏捷
長瀬芳郎印刷所
口入座城警
り通島中濱名小

一般外科 (整形外科)
内科 花柳病科

草野醫院
小名濱町 電話一七三番



初秋の小瀧へ!!!
◎宿泊 1.50 2.00 2.50
(御滞在は上記料金にて中食料を含ませます)
◎日歸浴席料 20
◎自炊料 50-80 (入場料室料衣具料一切)
◎料理一定食 80 1.00 1.50
(其の他一品料理一洋食)
◎湯効 効 神經痛・リウマチス・胃腸病・痔疾
婦人病・道土・中風・脂肪病
(内務省東京衛生試験所檢定)
◎諸設備 どうきゆう臺・高級ラヂオ・大廣間
讀書室・近代浴場・洗面所
水洗式便所・小動物園・御子様遊具
◎名物 川魚料理(うなぎ・鯉)蜂蜜羊羹
いちご羊羹
常磐線湯本驛下車・小瀧源泉 電話(小名濱)103番
御旅館自炊 瀧の湯

眼科一般
小名濱眼科醫院
小名濱町

藥材生衛.....
舖藥屋寶
港古町濱名小
番九三話電

營業品目
石工防腐コー
ナイロン剤
アルト染料
灰化食計寫真
粧料量材各種
品品器料衛生
滋消漆衛生
養毒材材
品料料

資生堂藥舖
東京銀座・資生堂子エンストア
小名濱町中島

振替口座東京四八四九〇番
振替口座仙臺 五四二〇番
電話一四七番